

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

BATPOST

(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報

2025

12
DECEMBER

(有)広島金具製作所
代表取締役
水ノ上 貴史氏

福山11月支部例会

ブルーオーシャンへ向かう大航海！ 同友会の学びと実践で会社が変わった

Contents

- 新会員紹介 ————— P.01
- 支部例会 ————— P.02-03
- 青年経営者全国交流会in香川 — P.04
- 地区会だより ————— P.05-10
- 部会だより(青年部・女性部) — P.10-11
- 委員会だより(経営労働 他) — P.11-13
- 支部理事会報告 ————— P.14
- 行事カレンダー ————— P.15

TOPICS.01

TOPICS.02

県スローガン

Human First!

～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

私たちが創ります私たちの学び舎を
～いまこそ主体的に動こう～



(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報
発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp> e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

NEW
MEMBER

新会員ご紹介

9月
入会



卸売業・運送業
めしどろぼう
代表
松岡 将吾 (B)

紹介者

(有)岡村商運 岡村 龍次 氏
(株)AirCollect 末広 雄一郎 氏

はじめまして。

めし(白米)をどろぼうしたくなるほど、おいしい野菜や料理を提供しています。また、軽貨物自動車での配達も取り扱っております。よろしくお願いいたします。

11月
入会



金属加工・板金塗装業(産業機械関連)
(有)ユタカ技研
代表取締役
鶏内 淳宏 (I)

紹介者

ソーホーアワムラ 栗村 光範 氏

同友会の皆様、はじめまして。

この会でたくさんの方々に色んな事を学ばせて頂きこれからの自分自身の生活や会社の環境を大きく前進させて行きたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

次回／

新会員オリエンテーション

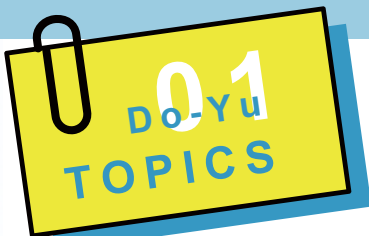
日時 2026年2月6日(金)19:00～

場所 ローズコム 大会議室

「ようこそ、同友会へ！」

会員一同、新会員の皆さまを心より歓迎申し上げます。「3つの目的～良い会社、良い経営者、良い経営環境」の実現に向け、共に切磋琢磨していきましょう。さて、ご入会を機に少しでも早く同友会の活動に慣れると共に、同友会の目的・理念・歴史を正しくご理解していただくために、「新会員オリエンテーション」を開催いたします。ご入会いただいた方には、早いうちに必ず1度は受講いただくのが「新会員オリエンテーション」です。ご多用中とは存じますが、ご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。





ブルーオーシャンへ向かう大航海！ ～ 同友会の学びと実践で会社が変わった～

■日時:11月5日(水) ■会場:ローズコム
■参加者数:140名

報告者

(有)広島金具製作所
代表取締役

水ノ上 貴史 氏



巻頭あいさつ

去る、11月5日(水)、(有)広島金具製作所 代表取締役の水ノ上貴史氏に報告いただき、福山支部11月例会を開催いたしました。当日は、140名(報告者・他支部・オブザーバーを含む)が参加しました。今月号では、代表して4名の方の感想を掲載します。



前向きに会社を良くしたい人のために 合同例会で感じた“同友会だからできる 支え合い”

今回の支部例会は、企画、組織委員会(実行委員会)合同で行いました。全体で120名を超える支部例会となりました。1か月前から各小組1名のオブザーバー参加目標を掲げ、副支部長が手分けをして自分の地区以外の各小組長さんへダイレクトに電話をして、状況確認など声掛けをしました。全体小組数34の内、結果29名のオブザーバー参加となりました。

発表内容は水ノ上県理事より、自社の危機状況を解決しながら、社員のやりがいなど、同友会活用方法を、体験談を基に分かりやすく、オブザーバーの方、現会員さんにとっても良い学びとなりました。懇親会でも多くの参加により、入会します宣言もあり、大変盛り上がりしました。

さて組織委員会として、今回参加者のオブザーバーに対して入会への手続きに向けてお願いがあります。何度かお会いしながら自社の課題・人・物・お金・地域など少しでも解決につなげることができる同友会ですと自信をもっておすすめください。事務局や支部理事、県理事に相談しながら手続きを進めてください。ただお願いだから入会してではなく、本気で会社を良くしたいなど前向きな考えの方に、入会して頂きたいです。また、今回参加された会員の皆さんも胸を張って同友会への声掛けができるのではないのでしょうか？

社会情勢も変化の時代となっております。是非、こんな時だからこそ、同友会の仲間づくりを共にやっていきましょう。



ユウケン(株)
谷野 裕次郎 (B)

ダメだった自分に向き合い、動き続けた。 その先に見えた経営者としての成長と希望

11月の福山支部例会はローズコムにて(有)広島金具製作所 水ノ上貴史氏に報告をしていただきました。会社の危機的状況を経験し同友会で学び行動し実践して会社がどう変わったかというリアルな発表でした。地元福山で育ち、大学卒業後家業の会社に入社した水ノ上氏は超前向きの性格の持ち主で、経営者自ら行動し社員に見せるという率先垂範を心がけておられます。会社について、スピードはマイペースですが確実で健全に成長させたいと年輪経営を心掛けていらっしゃる。

建築金具(雨具の金具メーカー)というニッチな業界で仕事をしておられますが、お客様の困り事を解消し感謝される会社になりたいと仰います。同友会入会前は、水ノ上氏もダメダメな時期があったとのこと。会社の数字も右肩下がり家族経営にありがちな不仲も経験されました。孤独を感じた中でも課題になっていた設備や採用に投資をしていきます。経営者として決断し行動した姿は今の水ノ上氏の経営者としての源なのかなと思いました。金融機関にも自分の信用で借入出来る人間にならないといけないという気付きもあり、自分自身変化する事を決意されます。同友会入会後は、数々の役職を経験されていて自ら学ぶ姿勢を継続しながら会社の経営もさぼる事なくされています。経営指針の大切さや信じた先輩に言われた事を実践し、諦めずやりきる事が大切、特に経営労働委員会の参加は必要という事でした。今の時代に合ったやり方を実践されていて、PDCAからDCAP、まずは行動からという話は印象的でした。

参加した会員やオブザーバーがこの発表をどう感じてどう実践するかが大切ですが、私も自社や自分に置き換え実践します。水ノ上社長ありがとうございました！今回の支部例会はたくさんの参加者があり活気ある例会になりました。吉田実行委員長と二見副委員長にご尽力いただき実現が出来ました。お二人ともありがとうございました！



(株)ココジャネ
岸本 一彦 (E)





支部例会参加で感じた組織の変化と、 今こそ同友会で学ぶべき理由

今回、今までになかった支部例会に合流で同じ地区の水ノ上さんの応援として支部例会に参加しました。組織委員会と企画委員会の合同でいつもの支部例会より活気があったように思いました。その中で僕が思ったこと。

①以前は地区長などが新会員を他の地区の会員などに紹介フォローをしていたが今はあまり見ない。

②遅刻者が増えている。

この二点が気になりました。

発表についてはビジョンが明確でわかりやすかった。経営労働委員会に関わり続けることの重要性を改めて理解しました。PDCA→DCAPプランを決めてから行動ではなく行動してからプランを決める、というのはまず行動することが大切と理解しやすかった。マズローの5段階欲求も不景気で収入が減り、まずは収入の安定が必要だと改めて理解しました。

今、自社は民需停滞などで業績が良くありません。今が同友会で深く学ぶタイミングだと思いました。



クイックマッサージ
ディライト
春名 孝一郎 (F)

経営指針を軸に、 ニッチトップが見えてきた挑戦の軌跡

後継者として入社して、同友会に入会した翌年、過去最低の売上高に落ち込むという大変な経験をしておられました。3年後に経営指針を作り始めましたが、そのころは、自社の業績に対する不安が社員への不満に向かってしまっていたそうです。2015年には、社長に就任し、経営指針を発表します。2016年に定めた10年ビジョンが「毎日がワクワク、めざせファーストコール」というものでした。当時は下請の会社でしたが、10年弱経ったいまでは、自社製品で「ニッチトップが見えてきた」という驚くべき変化(進化)です。

この自社製品というのは、「吊ピタくん」という建築板金工事で使う省力化製品です(ぜひ、検索してみてください)。新商品を新市場にぶつけるという、事業展開の方向性で最も成功確率が低いといわれる難易度MAXのチャレンジです。それを実現するのが経営指針を発表して共有することであると力強く発表する水ノ上さんは、「学びは100%同友会から」と言い切っていました。ブルーオーシャンへ向かう大航海! 経営指針で確かな航路を突き進んでいく姿が頼もしく見えました。

「新商品の挑戦が難しいことは分かっていた。重要なのは方針を決めること。経営者が考えて覚悟を決める。社員は、社長のためではなく、事業の目的を優先すること。」



池永経営(株)
田中 秀穂 (K)





第5分科会

実行委員長がんばったら会社が良くなった ～“見守る”リーダーが導いた売上3倍への軌跡～

■日時：11月20日(木)～21日(金)

■会場：ホテルパールガーデン

報告者

(有)永峰養豚場
永峰 智浩 氏 (宮崎同友会)



理想の農場を描き、任せる経営へ。 社員と共に歩み、5年で売上3倍を実現した軌跡

永峰氏は前回の第52回青全交in宮崎の実行委員長を務められました。売上は5年で3倍に。その軌跡について報告がありました。

永峰氏は農業系の学校を卒業後、米国へ2年留学し実家の養豚場に入社。米国では日本と異なり大規模で養豚を効率的に行っており、そこで永峰氏の理想農場が描かれました。しかし自社は豚が脱走するほど建屋が脆く、毎日修理の繰り返しで理想とはほど遠い状況でした。経営面においても、代表者である父は職人気質で人の意見を聞き入れることが無く、何度も衝突がありました。

その様な中で、建設会社の社長の紹介で同友会へ入会。オリエンテーションで経営者の責任と対等な労使関係に衝撃を受け、同友会で学ぶことを決意。しかし同友会で学んだ事を活かそうとしても衝突を繰り返しました。代表交代する際は永峰氏が語る理想の農場に対し「できるものならやってみろ」と言われ、心に火が付き技能実習生の受入や多額の借入等、即行動。同時期に宮崎同友会に青年部が発足。その後青全交の



実行委員長に選任され、全国へ活動範囲が広がりました。

今まで現場への指示は永峰氏が行っていましたが、会社を離れる機会が多くなり、少しずつ社員さんに会社を任せる様に。最近ではイベントの企画運営やインターシップ生の受入等も任せる様に。任せる上で一番大事にしているのは社員さんへの信用とコミュニケーション。任せる様になり社員さんも能動的になり、定着率も向上。豚舎の火災により大損害がありましたが、取引先からの支援や社員さんからの心温まるメッセージを貰い、今日も永峰氏は見守るリーダーとして社員さんと一緒に理想の農場づくりをしています。



中国建材(株)
金只 晃太郎 (P)



中同協 広浜会長



2日目全体会のようす



懇親会のようす



香川から次回開催地宮城へバトンリレー

A
地区会人を大切にする姿勢が
会社の未来をつくる

■日時:11月13日(木)
■会場:市民参画センター
■参加者数:26名

報告者

(株)アドバンス
井上 智弘 氏

今回の例会は今年度2回目となるP地区との合同例会でした。「人を大切にする姿勢が会社の未来をつくる」をテーマに、障がい児童支援事業所(放課後等デイサービス・児童発達支援)の運営をする(株)アドバンス 井上智弘氏より報告をいただきました。

井上氏は会社員時代、叱責や力に頼った指導により現場が疲弊した経験を語られました。その苦い経験を原点に、経営者となった現在は「挑戦できる環境づくり」「丁寧な説明と対話」「原因をチームで追及する姿勢」を重視した組織づくりへと転換されています。施設利用児童の保護者向けに子供の様子をサイトで公開する取り組みや、急な利用相談・送迎の調整にも寄り添う姿勢など、福祉ならではの「信頼を積み重ねる仕事」が随所に表れていました。

討論では、参加者それぞれが「人を大切にする価値観」を語り、できていると思っていた部分にも改善の余地があるという気づきが共有されました。井上氏の話から感じたのは「会社をつくるのは制度ではなく、そこにいる人そのものだ」というシンプルで力強い言葉でした。過去の失敗を力に

変え、仲間と未来をつくろうとする姿勢に、多くの学びをいただいた例会となりました。

(株)キャリアカンパニー
谷村 友飛 (A)B
地区会

瀧川流逆算経営

■日時:11月19日(水)
■会場:県民文化センターふくやま
■参加者数:50名

報告者

(有)滝川デザイン事務所
瀧川 陽介 氏

11月19日、県民文化センターふくやまにて、(有)滝川デザイン事務所 代表取締役・瀧川陽介氏による「瀧川流逆算経営」に関する発表が行われました。

瀧川氏は、デザインを通じて仕事を楽しく元気にするという理念を掲げ、事業承継時の厳しい財務状況を、売上より限界利益に着目した受注精査によって改善してきた経緯を紹介されました。先代の時代は、売上は増えていたものの利益が安定せず、単価の合わない取引が多かった可能性を指摘しつつ、業界特性として価格変動や消費税改定で需要が増える側面も述べられました。コロナ禍では在宅勤務やおこづかい制度などの報奨制度を試行しましたが、社員が慣れて効果が薄れる経験もあったため、社長就任前後からは企業理念や経営計画を改めて整備し、社員が「やらなくてもいい」という理由を持たないように、給与・賞与規定・昇給規定、有給休暇消費報奨金などを具体的な数値で示しながら仕組みを構築したと説明されました。

また、ブランディングは単なるビジュアルイメージではなく使命や存在価値であり、デザインは情報を正しく伝え

「伝わらない」を「伝わる」に変える役割を持つと強調。売上向上には新規開拓だけでなく既存顧客の「顧客解像度」を高め、ニーズを深く把握することで信頼性の高い提案に繋がり、利益率向上に寄与すると述べられました。

さらに、限界利益率を基準に福利厚生や設備投資の配分割合を設定し、社員とともに将来ビジョンを具体化してきたプロセスを紹介されました。60歳で社長を退く計画も示し、経営の工程表まで考えていることが語られました。拡大路線とは異なる視点を示す発表であり、参加者にとって大いに学びのある内容でした。

(有)山本鉄工所
山本 邦弘 (B)

D 地区会

自社を知ることこそ変革の一步！ ～わが社の健康診断～

■日時:11月19日(水)
■会場:市民参画センター
■参加者数:33名

報告者

(株)NeyoWell
梶川 真路 氏



企業変革支援プログラムver.2を活用した例会を開催いたしました。報告者として、広島東支部より梶川真路氏にお越しいただきました。

前半では、同友会へ入会される前のご苦労や、入会後のエピソードについてお話いただき、続いて、企業変革支援プログラムの具体的な活用方法についてご講演いただきました。プログラムの進め方につきましては、「健康診断と処方箋」に例えて分かりやすくご説明いただき、参加者も理解を深めることができました。

その後、実際にワークを実施し、エントリー自己診断および変革項目優先順位シートを記入しながら、自社の課題について整理しました。さらにグループ討論を行い、プログラムを実践してみた感想や、それぞれの会社が抱える課題について意見交換を行いました。当日は多くの方にご参加いただき、グループ討論では自社の課題について活発な話し合いが行われました。また、「自社の課題に気づくことができた」「基礎講座を受講してみたと思った」など、前向きな感想も多く寄せられました。

梶川氏のように、学んだことを即座に実行へと移すその行動力こそが、良い会社づくりへの近道であると強く感じた例会となりました。



(株)ソーテックス
コーポレーション
小野 貴正 (D)



E 地区会

＼ナイトレジャーのプロが教える／ 女性スタッフとのコミュニケーションスキルUP術！

■日時:11月18日(火)
■会場:ローズコム
■参加者数:30名

報告者

SKY ISLAND GROUP(同)
高橋 慶氏

(同)アイズ
加藤 健司 氏



11月例会では、日野充雅氏がファシリテーターを務め、SKY ISLAND GROUP (同)の高橋慶氏と、(同)アイズの加藤健司氏のお二人をパネラーに迎えて、「ナイトレジャーのプロが教える・女性スタッフとのコミュニケーションスキルUP!」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

今回のお二人の話から、経営者として多くの気づきを得ることができました。まず高橋氏は、厳しい下積みを経て独立したにもかかわらず、短期の利益に偏らず“安定と持続性”を最優先にした経営方針を徹底されている点が印象的でした。キャスト・お客様・スタッフの三者のバランスを常に整え、売上が伸びている時ほど慎重に調整する姿勢は、組織を守るリーダーとして非常に学ぶ点が多くあります。また、具体的な指示と徹底したモニタリングによってスタッフの変化を見逃さない姿勢は、現場に根ざした実務家としての強みであり、自社のマネジメントにも活かせる視点だと感じました。

一方、加藤氏は過酷な経験を経ても人間関係を最重視

し、コミュニケーションの質に徹底してこだわる姿勢が素晴らしいと感じました。特に「偽りの自分」を演じてでも信頼を守るという覚悟や、怒らず相手の話を最後まで聞く姿勢は、感情の扱い方を深く理解した経営者ならではの在り方だと思います。過去の失敗を素直に語り、その経験から「辞めるスタッフにも応援を伝える」という姿勢に変わった点は、組織を率いる者として大きな学びでした。



(株)三原三共アメニティ
沖迫 義樹 (E)



F
地区会

福山支部11月例会へ参加しよう

■日時:11月5日(水)
■会場:ローズコム
■参加者数:25名

報告者

(有)広島金具製作所
水ノ上 貴史 氏



11月のF地区の例会は、福山支部例会に合流して行われました。合流の理由として、報告者の水ノ上さんがF地区所属であり地区会あげて福山支部例会を盛り上げるとの理由で、合流しました。今回の目的の一つとして、多くのオブザーバー参加を掲げて20人以上の参加をいただきました。

水ノ上氏の会社の業務内容は、雨樋金具や太陽光発電設備の架台金具などを製造されています。水ノ上さんのモットーは「頼まれごととは試されごと・ハイ、イエス、喜んで!」で10数年前のリーマンショックや社員の裁判に至る退職など多くの厳しい局面を、独自の想像力を活かして、安定経営を継続されています。水ノ上さんは、スーパー前向きな性格でこの性格も厳しい状況打破に繋がっていると思います。

私が個人的な水ノ上さんに対して心に強く残っている思い出は水ノ上さんがF地区会長時に、私はグループ長でした。年度の最終月に、F地区独自の経営者大賞の発表会を実施しています。大賞の表彰式終了後に、

水ノ上さんが地区会長としてサプライズ表彰をされました。1年間の地区例会と地区役員会の、出欠と出席時間を細かく把握されていました。たまたま、私ともう一人の役員さんが表彰をされましたが、驚くことに出欠の他に定刻までに集合していることもチェックされていました。『地区例会・役員会／無遅刻無欠席表彰』の名目でした。この時に水ノ上さんの社員に対する、目配りと気配りを強く感じました。

『人を生かす経営』を率先垂範され、経営理念の『価値の創造』を実践。今まで多くの経験を生かして、今後の水ノ上さんの社業の発展に期待します。



ウィンロード企画
廣本 恭朗 (F)

G
地区会

福山支部11月例会へ参加しよう

■日時:11月5日(水)
■会場:ローズコム
■参加者数:12名

報告者

(有)広島金具製作所
水ノ上 貴史 氏



2025年11月、G地区会は福山支部例会に合流し、(有)広島金具製作所 代表取締役・水ノ上貴史氏の報告で学びました。水ノ上氏が後継者として直面された数々の苦難や、そこから学び取られた実践のプロセスは、参加者一人ひとりに深い気づきを与える内容でした。

水ノ上氏は、入社当初から先代社長との意見の対立や、数年後に倒産が迫る厳しい状況など、決して平坦ではない現実を経験されました。2011年に同友会へ入会されて以降、経営を真剣に学び、2014年には経営指針づくりに挑戦。その中で自社の実情を見つめ直し、「設備がない」「資金がない」「人材がない」という“ないないづくし”の課題に向き合われました。

しかし翌年には思い切って労働環境の整備に踏み出し、「人を生かす経営」への転換を実践されました。現在では新卒採用や障がい者雇用にも積極的に取り組まれ、指針とビジョンに基づいた経営を着実に前へ進めておられます。「とにかく行動することが大切」という言葉には、実践者だからこそその説得力があり、多くの参加

者が勇気をいただいた瞬間でした。

例会当日は会場全体が前向きな空気に包まれ、水ノ上氏の真摯で熱い想いがしっかりと伝わる時間となりました。グループ討論でも活発な意見交換が行われ、自社の課題に置き換えながら考える参加者の姿が印象的でした。G地区にとって、学びと気づき、そして一体感を深められる素晴らしい例会になったと感じます。

今回得た学びを今後の実践につなげ、仲間とともに成長していける地区活動を続けてまいりたいと思います。



小林弘樹社会保険
労務士事務所
小林 弘樹 (G)



I
地区会還暦起業家の山あり谷ありの3年間
～プロとしての自覚を強めた経験談～

■日時:11月17日(月)
■会場:西部市民センター
■参加者数:32名

報告者

ソーホーアワムラ
栗村 光範 氏

今回の例会では、ソーホーアワムラ代表、栗村光範が体験発表を行いました。発表者本人が報告いたします。

今回の体験発表では、栗村(以降「私」)が2022年9月1日に59才で起業し、これまで3年間の振り返りを、実際の売上金額の推移を交えて率直にお話ししました。59才とまさに還暦目前にして起業した私は「還暦起業家」とも名乗っています。

冒頭では、ソーホーアワムラの業務内容についてお話ししました。前職のリコージャパン勤務時代に培ったパソコン・システムの知識をベースとした、パソコンの販売、設定、アフターフォロー、ドローン撮影や動画・ホームページ制作など多岐にわたる業務内容であることを説明しました。リコージャパン時代に親しかったお客様も私名指しで依頼をしてくださる方も多いです。

お客様の期待に迅速かつ丁寧に応える姿勢で仕事に従事している私は、1年目2年目と順調に売り上げを伸ばしていきま



したところ、2023年の決算書を銀行に持参したところ、思わぬ評価をいただき500万円の融資を提案され特に使う予定はありませんでしたが借り受けました。当時は安易に「借りら

れるだけ借りておけばよい」と考えていました。それで気が緩んだのか、2024年は行動量の低下がみられました。その結果、売り上げが前年比70%まで落ち込んでしまいました。借り受けた500万円もあつという間に残り100万円を切る状況となってしまいました。決算を終え税理士さんのアドバイスで、「来年は単価アップと若干の借り増し」を提案され金融機関に行きました。しかし融資は断られました。2024年の業績が全く評価されませんでした。

ここで危機感が一気に高まりました。行動量を上げるとともに、単価を上げる努力をしました。付加価値を高める商品開発にも努めました。その結果、2025年の売り上げは前年から150%増と大きく伸びています。

この体験発表をもとにグループ討論では「あなたのとこの付加価値はなんですか?」のテーマで6グループの皆さんに討論していただき、2グループからの発表をいただきました。今後は同友会会員で「ギルド」を作りたい構想もお話ししました。同友会を通じ様々な気付きや繋がりが益々深まればよいと実感した実りの多い例会となりました。



ソーホーアワムラ
栗村 光範(1)

J
地区会

若者の未来を拓く企業連携

■日時:11月19日(水)
■会場:ローズコム
■参加者数:19名

報告者

(特非)どりいむスイッチ
中村 友紀 氏

J地区の11月例会は『若者の未来を拓く企業連携』というテーマで(特非)どりいむスイッチ 中村友紀氏の報告でした。

事業立ち上げのきっかけは自信の子供が不登校になり、その中でこういった子供たちにとってフォロー出来る場が近しくなく困ったという体験から、それだったら自分で他にこういった悩みを抱えているような方のサポートをしていけたらという想いからでした。そこでは新たなコミュニティもうまれ安心して保護者の方も子供を任せられる環境が整ったのだなと感じると同時に、中村さんの想いがあり、その想いに周りの方もしっかり関わってくれたのだなと感じました。とはいえ、社会へ一歩踏み出すということを考えると、距離を置こうとしたり、腰が重かったりするケースが見受けられるとのことでした。

グループ討論ではそういったことから企業との連携、繋がりをどうやって作れるかを各グループで考えていきました。社会では人材不足を問題視している傾向もあり、また別の人材確保のルートが出来るかもと討論も盛り上がり、討論の中でも自社でもこういった仕事なら任せられるし、助かるしなど連携を取る方法としてたくさんの案が出てきました。ただ討論を進



めるにつれて、最初のうちは体験できるような案をだし、まわりも「いいねー」というような反応でしたが、話を深掘するとまずそういった場に「行く」という一歩を踏み出すのにハードルがあるとのことでした。

経営者同士で話すとき「良い」となっていたものが、当事者達からすればまた違ったとらえ方の可能性もありますし、関わる前のアプローチの仕方も考える必要があるなという討論にもなりました。その際にではどうしたらと考えたとき、やはりその人それぞれで性格も違い、やりがいの感じ方も違ってくると思うと、事前にしっかり意見交換をする必要があるなと感じました。それをいざ自社に置き替えたときに、もちろん経営者として舵取りをするのは大切ですが、舵を切るとき、新しい仕事を任せるときには、事前に周りの意見にも耳を傾けることにより、もしかしたらスピードの出方が変わる可能性もあるのではと考えさせられました。

今回の例会では、中村さんにとってもたくさんの案をいただき、今後の活動に活かせるものもあつたのではと感じましたし、参加者にとってもハッとまた考えさせられる例会になったのではと思います。



(株)サークルベース
住吉 謙一郎(J)

K 地区会

中小零細企業が激変する市場の中で 未来を描く環境づくり

■日時:11月20日(木)
■会場:ローズコム
■参加者数:22名

講師

Fuku-BiZ
池内 精彦 氏

今回の例会では、備後地域が抱える若者流出という深刻な課題に対し、参加者それぞれの強みを活かして新しい事業アイデアを生み出すワークショップが行われ、大変学びの多い時間となりました。普段の業務では触れにくい異業種の視点や考え方に触れることで、自分の強みの再発見だけでなく、地域課題に対して「自分たちにもできることがある」と前向きに捉え直すきっかけになったと感じます。

また、奇抜な案も否定しないというルールのもと、自由な発想が生まれやすく、チーム内での議論が非常に活発になったことも印象的でした。最終的に、個性を活かしたまちづくり、推しかつと観光を掛け合わせたスタンプラリー、防災意識を高める企画、空き家を使った若者の居場所づくりなど、多様で実現可能性のある提案が出そろい、この地域の未来にはまだ大きな可能性があると感じました。今回の学びを自身の事業にも活かし、地域の発展に貢献していきたいです。



建内レンタル(株)
建内 博行 (K)



P 地区会

1人を大切にする姿勢が 会社の未来をつくる

■日時:11月13日(木)
■会場:市民参画センター
■参加者数:26名

報告者

(株)アドバンス
井上 智弘 氏

福山支部AP地区合同11月例会が開催され、「人を大切にする姿勢が会社の未来を創る」をテーマに、(株)アドバンスの井上氏が報告されました。

井上氏は、介護・障害児童福祉の現場での経験を通じて、「人を大切にできていなかった」過去の失敗から話を始められた。若くして管理職となり、高圧的な言動で部下を辞めさせてしまったこと、管理者不在の職場で連日の泊まり込みとなり、心も体も限界を迎えたこと、外資系保険会社でノルマ未達により懲戒解雇となったこと—これらの苦い体験から、丁寧な言葉遣い、上から視線を捨てること、挑戦の機会を奪わないこと、適切な休息とメンタルケアの重要性を学んだと語られました。現在は、福山市内で児童発達支援・放課後等デイサービス等を運営し、直営・FCあわせて60名超の組織を率いています。井上氏は「役職者ほどゴロゴロしていい。心に余裕がある人ほど人を大切にできる」という考えのもと、

- ・やりたいことにはまず「やってみよう」とOKを出す
- ・結果の振り返りをチームで毎日行う
- ・行政提出以外の書類は極力つからない
- ・休暇は取りやすく、有休も1時間単位で取得可能
- ・懲戒解雇ではなく、対話と期限を区切った出口支援で向き合う



といった具体的な仕組みで「人を大切にする経営」を形にしていることが紹介されました。

社内アンケートでは、「働きやすい」「長く勤めたい」「大切にされていると感じる」が多数を占める一方で、「周りの雰囲気が悪く前向きに働けない時がある」「社長との面談の機会がほしい」といった声も挙がり、強みと同時に課題も率直に共有されました。テーブル討論では、「どのような価値観を持って社員やお客様を大切にしているか」をテーマに、誠実さ、利他の精神、相互尊重、笑顔と幸せなど、それぞれの会社の軸を出し合いました。価値観が社員にどこまで浸透しているのかは、離職率や日々の言動、顧客からの評価に表れるのではないかという意見が多く出され、最終的に「経営者自身が理念をぶらさず体現し続けることが、最大のメッセージになる」とまとめられました。

人を大切にする姿勢こそが会社の未来を創る—井上氏の等身大の報告と討論を通じて、自社の人づくり・職場づくりをあらためて見直すきっかけとなる例会となりました。



(有)いしだクリーニング
石田 明 (P)

S 地区会

13代続く大工の第二創業チャレンジ

～地域の課題「空き家」を「希望」に変えるプラットフォーム事業づくり～

- 日時: 11月19日(水)
- 会場: ジーベックホール
- 参加者数: 23名

報告者

(株)由工房
西永 知史 氏



報告者は(株)由工房の西永知史氏で、13代続く大工の技術と伝統を守りながら、増え続ける「空き家」を地域の「希望」へと転換させる第二創業の挑戦をご報告いただきました。行政や住民を巻き込み、「子供たちが帰ってきたくなるまち」を創るプラットフォーム構想。その圧倒的な当事者意識と覚悟は、参加者に「自社の事業を通じて、地域に何を残せるか」という経営の本質的な問いを突きつけるものでした。

その熱量を受けたグループ討論では、「5年後、10年後に選ばれる企業」をテーマに、活発な意見交換が行われまし

た。縮小する市場の中で生き残るための方策として、同業他社との「戦略的なアライアンス」構築や、顧客の困りごとを「断らない」ワンストップ対応など、実践的な知恵が数多く共有されました。参加者全員が自社の強みを見つめ直し、地域になくはならない企業への進化を誓い合う、非常に濃密な学びの場となりました。



(株)マザーアンドチルドレン
安田 剛 (S)



『カッコつけマン』の終焉

～絶望の中から掴み取った自分軸～

- 日時: 11月4日(火)
- 会場: 市民参画センター
- 参加者数: 44名

報告者

(株)ウェルストン
石井 純平 氏



11月例会は、(株)ウェルストンの石井純平氏の体験報告でした。「自分軸」をテーマに報告いただきました。

かつては「カッコつけマン」を自認し、同友会活動で役職を務めながらも、実は会社の危機的状況を周囲に隠し続けていたという石井氏。表面上は順調に見せていた裏で、債務超過、信頼していた人からの詐欺被害、そして社員13名の一斉退職という壮絶な経験を赤裸々に語っていただきました。資金ショートにより家を失い、工場の鉄板の上で段ボールを敷いて寝泊まりし、廃棄弁当で食いつなぐという極限状態。そこから、「最後まであがいてみれば」という残った社員の一言をきっかけに、プライドを捨てて泥臭く仕事に向き合い、V字回復を遂げられたエピソードは、ま

さに事実は小説よりも奇なりという言葉通りの衝撃でした。どん底を見た石井氏が辿り着いた「逃げない、おごらない」という信念は、経営者としてだけでなく、人としての在り方を深く問

うものであり、順調な時ほど謙虚さが不可欠であることを痛感させられました。

後半のグループ討論では、「自分の軸は持っていますか?」というテーマで意見交換を行いました。石井氏の「逃げない」という強烈な軸に触れた後ということもあり、各テーブルでは表面的なビジネス論ではなく、自身の弱さや過去の失敗、そしてこれからの覚悟について深く掘り下げる議論が展開されました。自分がいかに「かつていい部分」だけを見せようとしていたか、苦しい時に何に立ち返るべきか。答えは一つではありませんが、石井氏のように自身の弱さを認め、周囲に感謝し、素直に頼ることのできる強さこそが、真の「軸」になり得るのではないかと感じました。「5年黒字、55歳引退、退職金1億」という明確なビジョンを掲げ、再起を誓う石井氏の姿に、参加者一同、明日への活力をいただいた例会となりました。



(株)有木木型製作所
黒瀬 暢也 (B)



女性部

Bloom!
輝く女性たちの締めくくり会

■日時:11月25日(火) ■会場:鳴海 ■参加者数:17名

女性経営者が集う女性部の活動に、日頃より温かいご理解をいただき、他部会の皆さまに心より感謝申し上げます。女性部では、この2年間、参加者同士が安心して語り合い、学び合える場づくりを大切にしながら活動を続けてまいりました。経営の現場では、判断の重さや孤独感を抱える瞬間が少なくありませんが、集まりの中で同じ立場の仲間と悩みや視点を共有することができ、互いの言葉に励まされる時間が積み重なってきたと感じています。

特に、この2年間で意識してきたのは、「一つひとつの集まりを丁寧に開催すること」でした。例会や勉強会、情報交換の場など、その都度テーマは異なりますが、共通していたのは“参加者全員が主役”という姿勢です。人数の多い・少ないに関係なく、日々忙しい女性経営者が集まるからこそ、その時間が心の余裕になり、明日へのエネルギーに繋がるような場づくりを心掛けてきました。実際、「ここでの学びが自分の事業のヒントになった」「同じ立場の人の話を聞いて気持ちが楽になった」など、参加者の声に支えられながら活動の方向性を育ててきたように思います。

また、女性部ならではの魅力として、“つながりの深さ”があります。立場や業種が違って、経営者として、そして一人の女性とし

て抱える課題には共通点も多く、話すことで気付きが生まれたり、視野が広がったりする瞬間がたくさんあります。形式的な会ではなく、温かく実のある交流を続けてこられたのは、参加される皆さまの前向きな姿勢のおかげです。

来年4月には役員交代を控えておりますが、まだまだ任期の中盤。残りの期間も、これまでと同じように、一つひとつの活動を大切にしながら、女性経営者が安心して集い、学び合い、互いを高め合える場としてさらに充実させていきたいと考えています。引き続き、他部会の皆さまにも活動の様子を温かく見守っていただければ幸いです。



ホルスティック
ブレイン学院(株)
藤原 留衣 (B)



経営労働委員会

経営のキホンの“キ”シリーズ 「経営基礎講座」東部エリア

第4講 経営方針Part 2

■日時:11月6日(木) ■会場:事務局・ZOOM・サテライト
■参加者数:28名

報告者

パンズグリル
小川 尚範 氏

今回、経営労働委員会に初めて参加させていただきました。経営の基礎講座って何をするとところなのか全然わからず、誘われたし、今の現状のままじゃだめだし、会社をどうにかしたいという思いから、とりあえず、「経営の勉強なのかな?」「参加して、今の会社がよくなればいいのか」というような感じで参加しに行きました。

講座では、実際、経営のことについて、どうしたら会社がよくなるのか、どういう理念、方針でしていけばいいのかなど、私が会社のことで悩んでいることについて、先輩方がいろいろ相談にのってくださいました。相談にのってくださる中で、普段なかなか相談する場所がなくアウトプットできないようなことについても、やさしく聞いてくださるだけでなく、状況にあった解説策や提案をしてくださいました。今まで、会社のことをよくしようと悩んでいたが、なにをしていいのかすらわからなかったことが、アドバイスをもらうことで、問題についての理解が深まるだけでなく、どうすれば、会社がよくなるかなどの行動ができるようになりました。

今まで、従業員は私だけで、私だけが生活でき、満足してい

けばいいという状況でしたが、お客様を増やすと同時に、社員も雇用し、自分ためだけの会社じゃなくなったことへの不安がありました。この経営労働委員会に参加することによって、より前向きにとらえられるようになりました。

私は現在、今度の経営理念や経営方針の作成をしています。作成していく中で、会社や社員のことを今まで以上に考えるようになりました。まだまだとても小さい会社で、今後どのような会社にしていくのか、どんな会社になっていくのか、経営労働委員会に参加して私自身とてもわくわくしています。



めしどろぼう
松岡 将吾 (B)



求人社員教育委員会

■日時:11月10日(月) ■参加者数:9社17名
■会場:エフピコアリーナふくやま

「心理学から見る思考のクセを知る」「認知の歪みを理解する」で、脳科学に基づいた話でした。脳は体重の約2%の重さしかないのに、使うエネルギーは全身の消費量の約20%だそうで、相当疲れる事から、らかな方向へ進む→考えない、レッテルを貼るなど→結果、思考にフィルターをかけ、正しい判断ができなくなってしまう、それが「思考のクセや歪み」になるのです。それが少ないほど状況判断力が優れ、学びの吸収が早く、逆に強いほど、ストレスを感じやすくなります。

ワークでは、自分の傾向や強さの診断をしたり、紙とストローで橋を作ったりしました。また、リフレーミングという手法も学びました。物事の事実は変えられないが、捉え方は変えられる、という考え方です。平たく言えば「モノは考え様」で



若手社員研修

講師

ホリスティックブレイン学院(株)
藤原 留衣氏



す。全体を通して皆さん真剣に聞いていました。当社からも2名参加しましたが、「減多に聞く事ができない」「明日から取り入れる」と言っていたので、良い研修だったようです。筆者は前述の診断で相当クセがある判定でした。それに対し、臨席していた田中さんから「それは素直って事!」と仰っていたので、私はいい方に捉える事にしました。早速リフレーミングを実践でき、いい気分でした。

葛間求人委員長の閉会の挨拶も、ウィットに富んだ面白いものでした。このような勉強会を主催してくださった委員会の皆様、ありがとうございました。



(株)ケンユー
占部 克明(B)



学生と企業を結ぶジョブサミット

今年も盛況な開催となりました。

■日時:11月15日(土)
■会場:広島テレビホール ■参加者数:8大学・22社

この「ジョブサミット」では、Jobway2026に参加されている企業に大学生が突撃取材をします。その取材の中から学生さんが疑問点や改善点を見つけていき、各大学ごとに取材した内容を発表し合い、地域企業のすばらしさに気づく、という趣旨で毎年開催しています。参加大学も毎年増えていき、今年は、広島と福山と尾道で8校の参加でした。

当日を迎えるにあたっては、昨年から大学と同友会でサミットの打ち合わせを進めていきました。今回は、大学生の発表をチームに分けて10分間のローテーションで行い、学生さん達が各自好きなブースへ行って発表を聞くという方法でした。そこで他の大学生と活発な交流が生まれ、お互い刺激になりました。

第2部は、学生、先生、企業が集まり「未来の授業広島(働く)のあたりまえを疑え」と題しましてパネルディスカッションが行われました。大企業と中小企業は何が違うの?大企業がいい企業なの?学生さんからいろいろな質問が飛び交います。中小企業といえども大企業のまねできない技術を持っています。仕事中に、子供さんがいらっしゃる社員さんが、2~3時間参観日のために抜けることも、可能です。仕事の「やりが



い」についても、お客様より直接「ありがとう」という感謝の言葉を頂くこともあります。働いている会社の製品が、身近で使われているのを見た時、あれはうちでつくったものよ、と社員さんがいうと、その家族も喜んでくれたという話を聞きます。

毎年大学からは、地域の多業種の企業の参加を希望する声が上がっています。学生さんは大企業ばかりに目が向いていて、新たに中小企業の良さを理解する機会がありません。もっと多くの会員さんにこの活動の意義を理解してもらって、Jobwayとジョブケンでお互い学び、良い会社、良い経営者、良い環境をつくりましょう。



(株)昭和工業所
葛間 立人(S)



■日時：11月4日（火） ■参加者数：13名
■会場：会場：事務局・Zoom

講師

社会保険労務士法人 藤井事務所
藤井 良章 氏

政策委員会では、2025年度の最低賃金改定をふまえ、11月に「最低賃金改定の影響と実務対応」をテーマとした勉強会を開催した。講師には社会保険労務士法人藤井事務所の藤井良章氏を迎え、最低賃金制度の趣旨から、実務面での影響、今後の経営対応まで幅広く学ぶ機会となりました。

最低賃金は、労働者の生活の安定を図ると同時に、賃金の底上げを通じて経済の好循環を生み出すことを目的とした制度です。政府は「賃上げと投資がけん引する成長型経済」を掲げ、最低賃金の引き上げを継続的に進める方針を示しており、今後も中小企業経営に与える影響は大きいです。

一方、福山支部で実施している半年ごとの景況アンケートを見ると、賃上げに「取り組んでいる」と回答する企業は一定数存在するものの、その多くが必ずしも業績に余裕があって実施できているわけではない実態が浮かび上がっています。人材確保や離職防止のために、やむを得ず賃金を引き上げている企業も多く、原材料費の高騰や価格転嫁の難しさが重なり、経営を圧迫している声が数多く寄せられています。

勉強会では、最低賃金改定への対応として、単なる賃金引き上げにとどまらず、賃金体系全体の見直し、生産性向上に向けた業務改善、価格転嫁に向けた取引先との交渉の重要性が指摘されました。また、「最低賃金に追われる経営」から脱却するためには、自社の付加価値を高め、主体的に賃金水準を決定できる経営体質への転換が不可欠であるとの認識が共有されました。

最低賃金問題は、労務管理の課題にとどまらず、地域経済の持続性や中小企業の将来像とも深く関わる政策課題です。政策委員会としては、景況アンケートで示された現場の声を踏まえながら、今後も会員企業が現実的に対応策を検討できる学びの場づくりと、政策提言につながる議論を進めていきたいと思っています。



大和屋製パン工場
塩出 喬史 (P)

企業変革支援プログラム Ver.2 登録月間です。

毎年11~12月は企業変革支援プログラムVer.2（以下Ver.2）登録月間です。

Ver.2は、最初から最後まで全部取り組むのは、とても大変です。そこで、この激動の今、自社を変革したい方に、お勧めしたいVer.2の使い方あります。

例えば、

- ・経営指針未成文の方は「現状の確認」のため「エントリー自己診断」に挑戦。
- ・経営指針成文化済みの方で「定期的に見直している」方は「自己分析シート」を使い課題の抽出・仕組みづくり・社員との共有を図り、さらなる変革に挑戦。

11月12月の登録月間に合わせて、Ver.2を使った自社「変革」の「習慣化」を念頭に、まずは登録してみませんか？ Ver.2の購入、使い化は、経営基礎講座でしっかり学べます。疑問質問は、経営労働委員か、経営労働担当事務局にお問合せください。一冊2,000円です。

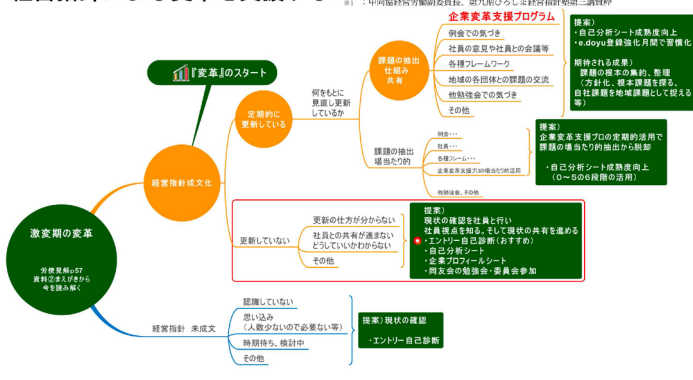
11月~12月は企業変革支援プログラムVer.2 登録強化月間

（記：事務局 井谷）



経営指針による変革を支援する

この図は、コウケンサービス(株) 吉武 恭介 氏 ※1 の了解を得て掲載しています。
※1：中同協経営労働副委員長、第九期ひろしま経営指針塾第3講資料



この図は、コウケンサービス(株) 吉武 恭介 氏 ※1 の了解を得て掲載しています。
※1 中同協経営労働副委員長、第九期ひろしま経営指針塾第3講資料

1) 討議事項

問題提起「総会議案に向けた振り返り～福山支部のさらなる発展をめざして～」
[掛江総会議案委員長]

- 先週、第1回目の議案検討委員会を開催し、支部理事の皆さんのアンケート結果を確認しました。情勢では、人の問題が多く経営課題にあげられています。まだアンケートが全員分揃っていないこともあり、皆さんの意見を広く聞きたいと討議事項のテーマに設定しました。
- 本日は皆さんの担当組織の振り返りと重要方針(経営指針、例会づくり、仲間づくり)について振り返りをお願いします。皆さんの地区では、福山支部のスローガンは共有できているでしょうか。議案書は経営指針書と同じです。理事の皆さんが議案の内容を会員に伝え、役員以外の会員とも議案の内容を共有していければ、と考えています。
- 本日のご意見をもとに、総会議案委員会で次年度の議案を考えていきます。よろしくをお願いします。

※「各担当組織の振り返り(議案書の重点方針に沿って)」というテーマでグループ討論を行いました。内容は省略いたします。

■まとめ [豊田支部長]

- 発表を聞き、支部と地区の距離感を感じました。距離があるとなかなか情報、議案も伝わりません。最近、支部例会の参加が少ないのは、支部例会の関心が薄いからだと思います。支部から地区に近寄るのも方法の一つだと思いました。本日の貴重なご意見は議案委員会で検討し、地区でも共有できる議案書を作っていきます。本日はありがとうございました。

【報告・連絡】

2) 委員会

①総務委員会 [田中委員長]

- 皆さんの予定に1/26(月)に全地区合同役員会が入っているでしょうか。今回は地区会運営の手引きがテーマです。本日の討議事項で出た課題、経営指針の成文化と実践など、ポイントとして報告をしていきたいと思います。
- 迷ったら原点に戻る。同友会では三つの目的がその一つです。唱和した三つの目的の言葉一つを取っても、会員増強や政策、経営指針の成文化などに繋がります。同友会で何かに迷ったら、三つの目的に立ち返る、そんな内容を学びます。役員だけではなく新会員の参加も可能です。

②組織委員会 [杉田委員長]

- 成果を出すには目的の確認と関心を持ってもらうことだと思います。仲間づくりに対しても関心を持ってもらうことで、自分たちがなすべきことが見えてくると思います。

③企画委員会 [内海委員長]

- 1月新春講演会は1/14(水)です。恒例の丸山先生による情勢のお話しです。互礼会にもご参加ください。

④広報委員会 [春名委員長]

- 当日資料に実際にBATPOSTを見たデータが出ています。地区会でも共有をお願いします。

⑤経営労働委員会 [高山委員長]

- 11月と12月は企業変革支援プログラムの登録強化月間です。登録方法を掲載した資料をつけています。各地区でお知らせください。現在、登録目標20%に対し、8.35%の登録です。地区別の登録状況は資料をご確認ください。
- 同友会の入会動機はそれぞれです。同友会は学校とも言われますが、経営指針は学びの部分で、(経営指針でわかった)経営課題に合わせて委員会に参加して実践していくのが、同友会の強みです。そして、その体験を報告するのが地区例会だと思っています。同友会の学びをPDCAで回していくのが、よい会社・よい経営者になっていきます。ぜひ新会員さんをはじめ、地区会でもお伝えください。

⑥求人社員教育委員会 [森川社員教育委員長]

- 来春の新入社員研修に向けたアンケートを実施中です。現在、7～8名が研修に参加予定で、目標の約半分です。来月には実行委員会を開催します。福山会場の単独開催に向け、ご協力をお願いします。

⑦政策委員会 [代/事務局]

- 県政策委員会のアンケートは、年明け1/13(火)から始まります。月末までの期間ですが、またご協力をお願いします。アンケートは中小企業の声を届けるだけでなく、自社の定点観測にもなります。

4) 地区会・部会

今月の報告はありませんでした。

5) 県関係の報告

①県理事会の報告 [豊田支部長]

- 11/17に完全Zoomで開催されました。会費問題について提案がありましたが、決定に至らず、来春の県総会での値上げ提案は見送られる見込みです。
- 政治と同友会の関係の規約について提起がありました。内容を確認し、こちらも再度検討となりました。専務理事の選任について手順の確認がありました。現在の「県理事会で推薦し役員選考委員会で選考」から、県正副代表理事会で推薦に変更提案がありましたが、こちらも再検討となりました。
- 県のスローガン案「学んで実践!未来を創ろう」の紹介がありました。ほぼこちらの案で合意を得ています。
- 県と支部の中期ビジョンの開始時期、期間について調整案が出ています。

②来春の県総会について [藤井友総会フォーラム実行委員]

- 第54回定時総会のお知らせです。日程は5/26(火)、会場はリーガロイヤルホテルです。総会、分科会、懇親会の3部構成です。分科会は3つあり、企業づくりの分科会には、末広B地区会長が報告します。
- 懇親会の参加費は9千円で、総会と分科会のみ参加は無料です。
- 福山担当の分科会準備に向け、各地区から実行委員の選出をお願いします。本日の討論発表でも、「役を担当することで成長するという話が出ました。実行委員は県総会でも出番が出来ると思います。各地区の実行委員については、地区会長に個別にお願いします。県総会では議論を深める場です。参加人数だけを追うのではなく、そういった視点も含めて、お声がけしていければと考えています。

6) その他の報告

①支部活動費の執行状況 [田中総務委員長]

- 10月末で執行の目安58.3%に対し、52.7%の執行状況です。
- 後期の地区会補助金の執行がありました。各地区の口座をご確認ください。
- 経営フォーラムのバス代はS地区の利用が想定より多く、支部からは少ない支出となる見込みです。
- ふくやま企業の夏祭りは県委員会から補助が出ます。補助が執行された場合、予算超過は解消されます。

②支部理事増強の進捗 [藤井友副支部長]

- 任期の終わりも見えてくる時期になりました。理事増強はみんなでやろうと決めたことの一つですが、実際にはややスローペースで進んでいます。
- 能登副代表理事の言葉を借りれば、仲間づくりは、「熱意×声をかけた数」です。理事として仲間づくりを動いているか、いないか問われています。理事増強は、組織委員会の動きとは別の問題ととらえて、最後の力を振り絞って、行きましょう。

③12月支部理事会の日程 [豊田支部長]

- 前月の支部理事会で日程変更の提案をしましたが、特段のご意見がなく、定例の12/24(水)に行います。

7) 【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者(1名)

(南)ユタカ技研 代表取締役 鶏内 淳宏(1)

事業概要:産業機械関連で金属加工・板金塗装等を受注しています。

■退会希望者(3名)

(南)イーブラザ 柚木 圭(B)

(株)DREAM-KTH 代表取締役 渡部 賢一(J)

Apple(株) 代表取締役 小川 浩司(S)

以上承認されました。

これにより福山支部の会員数は655名になりました。

(文責 事務局 本田)

1 月行事案内

福山支部新春講演会 & 新年互礼会

2026 年の幕開けに情勢を学ぶ

講師：(有) 第一コンサルティングオブビジネス
代表取締役

丸山 博 氏

日時：2026 年 1 月 14 日（水）

講演会 18 時 30 分～ 20 時 15 分

互礼会 20 時 30 分～ 21 時 30 分

会場：福山ニューキャッスルホテル

会費：9,000 円（互礼会）講演会のみは無料

申込締切：1 月 5 日（月）

新春講演会後、丸山先生から国内外の情勢を解説いた
だき、新年互礼会では福山支部全体の交流を深め
ていきます。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

日	曜	全体行事	委員会・部会	地区会、他
1	木			事務局休業
2	金			↓
3	土			↓
4	日			↓
5	月			
6	火		政策	
7	水		企画	G
8	木	基礎講座	経営労働 地域内連携	
9	金		組織、 環境経営	
10	土			
11	日			
12	月			
13	火		求人社員教育、 青年部	
14	水	新春講演会	女性部	I,S
15	木			B
16	金			A
17	土			
18	日			
19	月	県理事会		J
20	火	正副		E,F
21	水			D,K
22	木			
23	金			
24	土			P
25	日			P
26	月	全地区合同役員会	総務	
27	火		広報	
28	水	支部理事会		
29	木	役員研修大学		
30	金			
31	土	全県地区長交流会		

A 地区会

B 地区会

D 地区会

E 地区会

F 地区会

G 地区会

I 地区会

J 地区会

K 地区会

P 地区会

S 地区会

新春書初め例会 ～飛翔への第一筆～

日時：1 月 16 日（金）19 時 00 分開会

会場：未定 会費：無料

報告者：参加者全員

新春書初め例会として 2025 年の振り返りと 2026 年の抱負を踏まえ各社各自のことを 1 枚の書として残し、参加者がお互いのことや状況を共有する例会にします。

B 地区新年互例会

日時：1 月 15 日（木）19 時 00 分開会

会場：元町ホール 会費：7,000 円

報告者：参加者全員

書初め発表でそれぞれの想いや目標を語り合いながら、楽しく交流を深めます。

新年互例会 ～相互理解を深める～

日時：1 月 21 日（水）19 時 00 分開会

会場：元町ホール 会費：6,000 円

報告者：参加者全員

食事をしながら、リラックスした雰囲気の中で親睦をより深めて頂きたいと思います。多くの方と交流できるように、時間毎でテーブルチェンジを行ってまいります。

E 地区 1 月例会

日時：1 月 20 日（火）19 時 00 分開会

会場：ローズコム 会費：無料

報告者：i STAGE 今橋 宏輔 氏

2022 年にリフォーム工事業として起業し、民需中心に営業しています。自己紹介発表と題し、起業までの経緯や現在の経営課題・経営目標について発表していただきます。

次世代の田島タクシーを狙う ～福山で一番のタクシー会社に～

日時：1 月 21 日（水）19 時 00 分開会

会場：市民参画センター 会費：無料

報告者：田島タクシー（有）小畑 尚也 氏

小畑さんから、自身のこれまでの職業経験や現場での学びを振り返り、田島タクシー（有）の将来を見据えた自身の立場や役割をお話いただきます。

G 地区 1 月例会 ～直会～

日時：1 月 7 日（水）17 時 15 分開会

会場：福山八幡宮 会費：無料

新しい年を迎え、新会員さんと共に新たな決意と志望のためのお参りへ行きます。

新春講演会に合流

日時：1 月 14 日（水）18 時 30 分開会

会場：福山ニューキャッスルホテル

会費：9,000 円（互礼会）講演会のみは無料

講師：(有) 第一コンサルティングオブビジネス
代表取締役 丸山 博 氏

J 地区 1 月例会 ～つと～

日時：1 月 19 日（月）18 時 30 分開会

会場：天下ばし 会費：6,000 円

報告者：参加者全員

「つと」とは、酒場で始まりメンバーの経営課題や近況をグループディスカッションしより深く掘りしていく例会です。

K 地区新年例会

日時：1 月 21 日（水）19 時 00 分開会

会場：事務局 会費：無料

K 地区会員が、2026 年における「理念」と「行動指針」を、プライベート・仕事・同友会活動の各分野に分けて発表します。一年のスタートに掲げた目標へ着実に取り組むためのぎっかけとする例会です。

M G 研修

日時：1 月 24 日（土）～ 25 日（日）

会場：ペアコム（株） 会費：調整中

講師：(株) IMPACT 田中 隆司 氏

同友会で学びながら MG をしている人の多くが社業を進展させていると感じており、そのような経営者を福山からも輩出させていきたいです。

「支部・新春講演会」に参加しよう

日時：1 月 14 日（水）18 時 30 分開会

会場：福山ニューキャッスルホテル

会費：9,000 円（互礼会）講演会のみは無料

講師：(有) 第一コンサルティングオブビジネス
代表取締役 丸山 博 氏

総務

後期・全地区合同役員会

日時：1 月 26 日（月）19 時 00 分開会

会場：ローズコム 会費：無料

問題提起：田中総務委員長

※ 18:00 から委員会を開催いたします

組織

日時：1 月 9 日（金）19 時 00 分開会

会場：ローズコム 会費：無料

議題：仲間づくりの進捗確認

トムソーヤの大冒険準備・確認

新会員オリエンテーションの確認

企画

日時：1 月 7（水）19 時 00 分開会

会場：事務局・Zoom 会費：無料

議題：新春講演会・新年互礼会の最終確認

3 月例会「経営者大賞」について

今期の振り返り、次年度の計画

広報

日時：1 月 27 日（火）19 時 00 分開会

会場：事務局・Zoom 会費：無料

議題：支部報 1 月号について

支部報 2 ～ 3 月号の企画編集

今後の支部報について

経営労働

全県共通経営指針基礎講座 「第 5 講 財務計画 Part1」

日時：1 月 8 日（木）19 時 00 分開会

会場：福山事務所・サテライト会場・Zoom

会費：無料（テキスト代実費）

講師：(株) CF パートナース 峠本 正喜 氏

求人社員教育

日時：1 月 13 日（火）18 時 00 分開会

会場：事務局・Zoom 会費：無料

議題：求人活動、社員教育活動の計画

政策

日時：1 月 6 日（火）19 時 00 分開会

会場：事務局・Zoom 会費：無料

議題：今後の活動計画 ほか

バリアフリー

※ 今月はお休みです

環境経営

日時：1 月 9 日（金）19 時 00 分開会

会場：事務局・Zoom 会費：無料

議題：12 月勉強会の振り返り

2 月勉強会の準備

地域内連携推進

日時：1 月 8 日（木）

会場：調整中 会費：無料

議題：企業訪問

岩永啓嗣の自己開示！

青年部

日時：1 月 13 日（火）19 時 00 分開会

会場：ローズコム 会費：無料

報告者：(株) ホームコネクト 岩永 啓嗣 氏

同友会活動でやるかやらないかを選択する場面で、素直力を持って行動することから経営者として重要な「まずはやる」というマインドにつなげます。

女性部

令和 8 年 新年互礼会 ～女性部とともに新たな歩みを～

日時：1 月 14 日（水）18 時 30 分開会

会場：福山ニューキャッスルホテル

会費：9,000 円（互礼会）講演会のみは無料

講師：(有) 第一コンサルティングオブビジネス
代表取締役 丸山 博 氏

有志の勉強会

ダイヤモンドクラブ

2026 年成長戦略～情勢・課題から戦略を描く～

日時：1 月 20 日（火）19 時 00 分開会

会場：(有) 大下木型製作所 会費：無料

報告者：参加者全員

2026 年を取り巻く情勢と目標と課題を報告し合います。